



梅雨期ですが、暑くて良い天気の日が続き、汗をかきながら外で元気いっぱい遊んでいます。梅雨期ならではの物に触れたいと、先日は紫陽花を見に散歩に出かけましたが、カタツムリの殻やカエル、ダンゴムシなど生き物に夢中の子どもたちでした。



楽しみと少しの不安を抱え、お泊まり保育の日を迎えました。

まずは3つのグループに分かれ、それぞれカレーに入れる食材を買いに、お買い物に行きました。メモ係、カート係、お財布係、お買い物袋係と役割を決めていたので、一人一人が自分の役割をしっかりと全うしてくれていました。メモにかかっているイラストと見比べながら、「あった！これや！」と宝探しみたいに楽しんで食材を探していました。

クッキングでは、買って来た食材を用いてカレーを作りました。ピーラーに上手く力が伝わらず皮を剥くのが難しかったり、玉ねぎを切った後は目が痛くなって涙が出たりして苦戦しましたが、火が通って食材の色が変化していく様子や、カレールーを入れると美味しそうな色、匂いがしてきて、「美味しそう！」「早く食べたい！」と大喜びでした。夕食の時には、自分のグループのカレーとおかわりに他のグループのカレーも食べて大満足でした。

入浴では、顔に水がかからないようにする子、いつもはやってもらっているけど自分でも頭を洗ってみる子など自分で自分の体を綺麗にし、温泉みたいな大きなお風呂に大喜びでした。

夜は花火をしました。手持ち花火に次々に火をつけて楽しみ、あっという間になくなりました。打ち上げ花火、ナイアガラなどの大きな花火も見て、歓声をあげて大興奮でした。

疲れからかすぐに眠りにつき、次の日の朝は起床予定時間よりも1時間前から起きて来てお友だちとコソコソ楽しそうに話しをしていました。

お泊まり保育を通して、お友だちと協力して物事を成し遂げる喜びを感じたり、保護者の方と離れて過ごす寂しさや不安に打ち勝ち、乗り越えたり、たくさんの成長が感じられ、また1つ大きくなった子どもたちの姿に嬉しく思いました。

○エピソード○ 『基礎』

- ① 吸盤の玩具を2箱出して遊んでいた時。
 Aちゃん 「先生、白の吸盤が1個足りん」
 保育教諭 「え、そうなん？」
 Aちゃん 「うん、こっちは2個でこっちも2個って箱に書いてあるんやけど3個しかないん」
- ② うさぎ組のお友だちと一緒に遊ぶことになった時。
 Bくん 「うさぎ組さんって何歳なんやろ？」
 Cちゃん 「2歳～3歳やで」
 Bくん 「そうなんや！」
 Cちゃん 「うん、4個下やな」



☆①の場合、白の吸盤が『 $2+2=4$ 』。でも、3個しかないから足りないのは『 $4-3=1$ 』という計算式になりますが、もちろんAちゃんは足し算、引き算なんて分かりません。②の場合も、自分は6歳でうさぎ組さんが2歳だから『 $6-2=4$ 』と計算式を立てて引き算をしているわけではないですね。このように日常の中で数を合わせたり、数えたりすることが、小学校で習う算数の基礎となっていることが分かります。

いろいろなことができるようになることは素晴らしいですが、『基礎を培う』ことも大切な姿として、関わっていきたいと思います。



3日(月)	引き揚げ記念館	七夕
7日(金)	七夕	
10日(月)	プール開き	
	海の合同勉強会①	(城山公園にて海水浴)
12日(水)	保小連携活動	
13日(木)	海の合同勉強会②	(海鮮バーベキュー)
14日(金)	不審者訓練	
18日(火)	海の合同勉強会③	(遊覧船)
20日(木)	身体測定	
22日(土)	夏祭り	
24日(月)	合同陶芸体験	
28日(金)	お誕生会	
29日(土)	高浜キッズこだも園夏祭り	(ご自由に参加して下さい)
31日(月)	体操教室	

